

参加者へのご連絡

受付場所：理工学部 6 号館、2 階多目的セミナー室
本庄キャンパスマップの 2 8 番の建物です。

受付手続き：当日、最初に受付場所にお越し下さい。

費用：参加費は無料ですが、障害保険料として一人 2 0 円を受付にてお支払い下さい。

参加イベント：基本的に全てのイベントに参加して頂きます。途中からの参加、あるいは途中までの参加、も認めますが、その場合には参加イベント数が少なくなります。また、途中参加の場合には事前にご連絡願います。

昼食：各自でお願いします。弁当持参の方は昼食場所を準備してますのでご利用ください。また、大学生協食堂（本庄キャンパスマップの 5 3 番の建物）もご利用できます。

時間割：各イベントは 3 0 分程度で終了します。

- 9 時 3 0 分から 1 0 時：説明会
- 1 0 時から 1 2 時 3 0 分：5 つのイベントを体験
- 1 2 時 3 0 分から 1 3 時 3 0 分：昼休み（昼食）
- 1 3 時 3 0 分から 1 6 時：5 つのイベントを体験
- 1 6 時から希望者に対し科学の質問を受け付け

帰りの迎え：お子様と打ち合わせしておられない方は、受付場所を控室にしていますので、ここに迎えに来て下さい。

駐車場：約 1 0 0 台の駐車スペースがあります。場所は大学構内に“矢印”で示していますので、それに従ってお進みください。



- 1 法人本部
- 2 学生センター
アドミッションセンター
キャリアセンター
- 3 附属図書館
- 4 保健管理センター
- 5 教養教育1号館
- 6 教養教育2号館
- 7 教養教育大講義室
- 8 文化教育学部1号館
- 9 文化教育学部2号館
- 10 文化教育学部3号館
- 11 文化教育学部4号館
- 12 文化教育学部5号館
- 13 文化教育学部6号館
- 14 文化教育学部7号館
- 15 文化教育学部8号館
- 16 文化教育学部9号館
- 6 文化教育学部10号館
文化教育学部附属教育実践総合センター
- 17 経済学部1号館
- 18 経済学部2号館
- 19 経済学部3号館
- 20 経済学部4号館
- 9 留学生センター・国際課
- 16 高等教育開発センター
- 21 菊桶シュライバー館
(地域学歴史文化研究センター)

- 22 理工学部1号館
- 23 理工学部1号館 (南棟)
- 24 理工学部2号館
- 25 理工学部3号館
- 26 理工学部4号館
- 27 理工学部5号館
- 28 理工学部6号館 (DC棟)
- 29 理工学部7号館
- 30 理工学部8号館
- 31 理工学部9号館
- 32 理工学部大学院棟
- 33 機械システム実習工場

- 34 農学部1号館
- 35 農学部2号館
- 36 農学部3号館
- 37 農学部4号館
- 38 農学部実験棟
- 39 放射線同位元素実験室 (RI実験室)
- 40 産学官連携推進機構
女性研究者支援室
- 41 海洋エネルギー研究センター
- 31 総合分析実験センター
- 42 総合情報基盤センター
- 28 低平地沿岸海域研究センター
- 30 シンクロトン光応用研究センター

- 43 体育館
- 44 プール
- 45 スポーツセンター
- 46 弓道場
- 47 野球場
- 48 テニスコート
- 49 テニスコート
- 50 陸上競技場

- 51 文科系サークル会館
- 52 体育系サークル会館
- 53 大会会館・大学生協
- 54 かさざぎホール
- 55 菱の実会館
- 56 佐賀大学同窓会事務所
- 57 楠葉寮
- 58 国際交流会館
- 59 職員宿舎

P 駐車場
バス停

バス停
「佐大西」

バス停
「佐大前」

正門
バス停
「佐大前」



「来てみんなしゃい！ 佐賀大学へ」 ”光と遊ぼう！ - 光の不思議体験 - ”

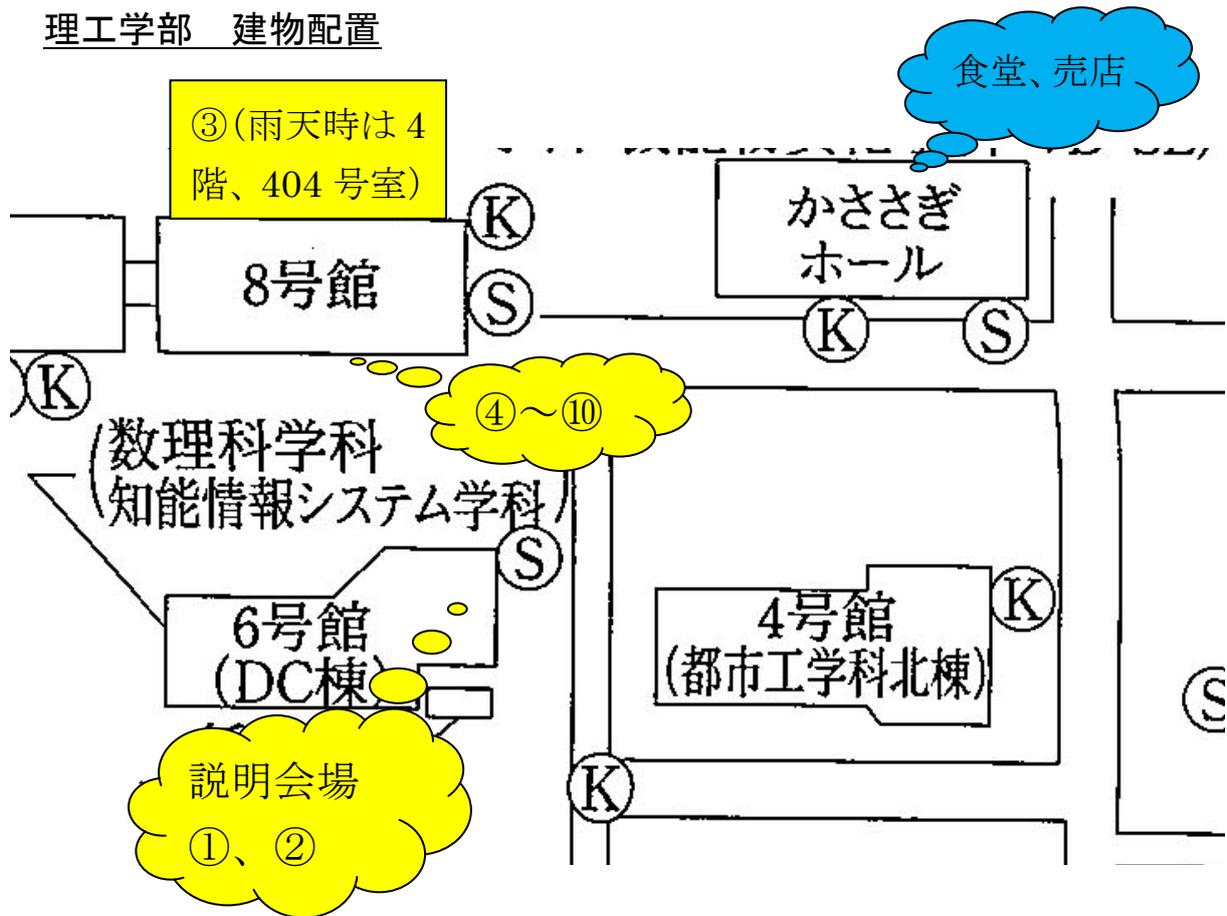
内容の説明

①	アインシュタインの相対性理論の世界を両眼立体視してみよう	立体映像の体験	以下の3種類の方法で、相対性理論の映像を試みる。 1. 赤青メガネで試みる。 2. 偏向メガネで試みる。 3. 裸眼立体視モニターで試みる。
②	見えない「光」を見よう	紫外線や赤外線などの人間が肉眼では直接見ることができない「光」を、特殊な装置で映像化することができる。ここでは、こうした「眼に見えない光」を見る方法を学習し、実際にその映像を体験する。	
③	距離・角度を測ろう！	1. 20mの距離を歩き、歩数を計測する(3回行う)。歩数の平均を求め、自分の歩幅の計算を行います。 2. 指定される距離と角度と思われる位置にピンを立ててもらい、実際にトータルステーションを使用して距離と角度を計測し、指定した数値との比較を行います。	
④	誕生日の夜空へタイムスリップ	1. 参加者の誕生日の夜空を天体シミュレーターソフトで印刷して渡します。 2. 参加者が星の位置に蓄光塗料をぬり、夜空を完成させます。 3. 部屋の明かりを消せば星の輝きを見ることができる。(完成した夜空は持ち帰ってもらいます) 【学習ポイント】 蓄光材料は太陽光や電灯などの光エネルギーを吸収し蓄え、光が無いところでは蓄えたエネルギーを可視光として徐々に放出し、長時間輝くことができる物です。	
⑤	・とまってみえる ～ストロボ発光～ ・色がみえる ～ベンハムのこま～	ベンハムのこま	1. あらかじめプリンタブルCDにプリントした模様を黒マジックで塗り、CDの穴にビーズを接着して「こま」を製作し、回転させ弧状の色が見えるかを観察します。 2. あらかじめ製作した回転装置を使用し、回転させ弧状の色が見えるかを観察します。
		ストロボ発光	円盤に文字や絵などを描き、旋盤、または回転数調整が出来るモータに円盤を取り付け回転させ、ストロボ発光回転計を使用し、文字や絵などにストロボを照らし、停止するさまを観察し、回転数を調べます。

⑥	“チクタク・チクタク” 色時計	2種類の水溶液を混合すると、はじめは何の変化も起こらないが、反応開始後一定時間経過すると突然赤色に呈色する。赤色に変化するまでの時間と混合する液の割合を変化させた時計のような反応を観察する。	
⑦	夜光ペンダントを つくろう	水はコップで、電気は電池でためる事ができます。それでは”光”はどうでしょう。昼間の光をためて、暗闇で光るセラミックスがあります。今回は、このセラミックスの粉を星型、ハート型のゴムに入れ、ペンダントを作ります。	
⑧	ふしぎな箱 ～鉛筆が壁をつきぬける！～	偏光板を使って、紙箱の中に、仮想的な黒い壁をつくり、紙箱に鉛筆を差し込んで、その壁をつきぬける様子を観察します。作った箱はお土産として渡します。	
⑨	立体映像の不思議	アナグリフ映像	被写体をデジタルカメラにより静止画、あるいは動画で撮影し、専用アプリケーションソフトにてアナグリフ画像に変換し、専用めがねを用いて鑑賞します。静止画についてはプリントアウトして、専用めがねと共に持ち帰ってもらいます。
		ホログラム 再生鑑賞	数種類の作成済みホログラムを白色光あるいはレーザーなどを用いて再生し、鑑賞します。
⑩	光で会話しよう！	音声光通信	一般のマイクロフォンで音声を光通信キットの送信部に入力して、キット受信部からの出力信号を一般のヘッドホンで聴く。二人一組で実験を行えば、光での会話ができることを確認する。また信号のアナログとデジタルの相互変換ならびに光変調についての概念を理解する。
		映像光伝送	動画あるいは静止画の信号を光変調させて画像伝送実験を行う。光変調の概念を理解する。

実験場所 地図

理工学部 建物配置



8号館 案内

